

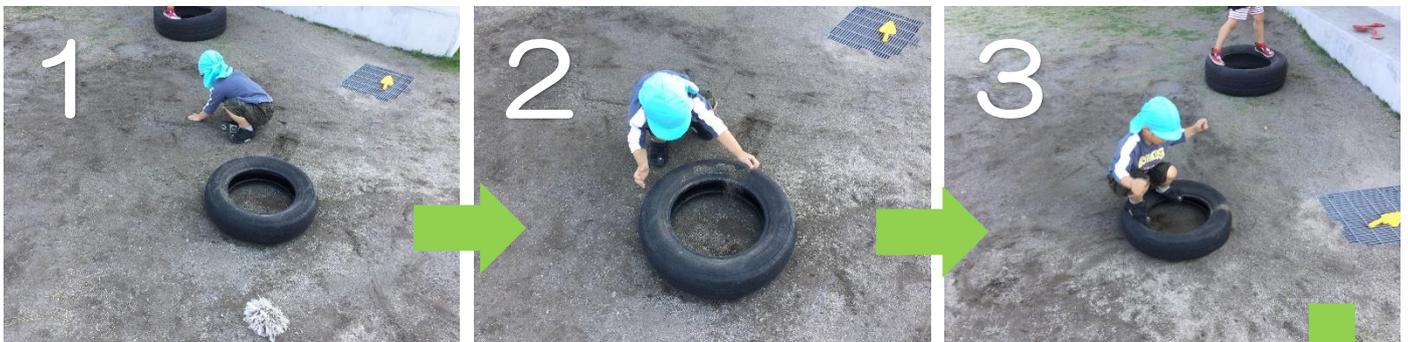
憧れから遊びが発展！（園長つぶやき）

ある日の朝の園庭遊び。全園児が園庭に出てそれぞれのやりたい遊びに熱中していました。そんな中、タイヤの上に乗っている2人の子どもがジャンプしながら遊んでいました。それはもう、トランポリンを使ってエクササイズをしているかのような状況です。



この横でちょうどデッキから、去年の発表会のお遊戯曲が流れている状況で、その曲に合わせてジャンプしているような感じでした。写真を見て分かる通り、年長の男の子（ピンク帽子）の動きをマネしながら、年中の男の子（水色帽子）が動いています。しばらくは、この遊びが続いていましたが、年中の

男の子（水色帽子）の動きが変わり、しゃがんで立って跳び、しゃがんで立って跳びを繰り返す遊びを始めました。何が始まったのかなと、近くに行ってみると、理由が分かりました。



どうやら、**タイヤの上に集めた砂を乗せてからジャンプすると、砂が飛んで落ちていくことに気が付いて**始まったようです。その砂の落ちていく様子が面白かったようでこの流れを、何度も繰り返していました。

遊びの中で、ふとした瞬間に色々なことに気づ

き、遊びが変わっていきます。今回は、年長さんがやっている遊びを自分もやってみたくと挑戦していた時に、発見できたことがさらに違う遊びに発展していきました。大人からすると、小さなことであっても、子どもからすると、大きな気づきです。園庭の環境も、もっともっと工夫していき、子ども達の大きな発見の手助けができればと思います。

